

基本計画18 消防、救急体制の強化

現状と課題

本市は、七飯町及び鹿部町とともに南渡島消防事務組合を組織し、広域的かつ効率的な消防、救急体制の強化に努めています。

消防は、大規模火災や自然災害などへの対応はもとより、北海道新幹線開業に伴う交流人口の拡大や高規格幹線道路の延長に伴い、交通事故や火災を含む災害の複雑化、多様化に対応していかなければなりません。

このような災害に的確に対応するため、施設整備や消防職員、消防団員の育成強化など消防防災体制の充実強化が必要となっています。

救急業務においては、高齢化と救急に対する住民意識の変化により、救急需要が年々増加し続ける中、救急車の適正利用のための広報活動を行うとともに、ドクターヘリの効果的な活用についても検討を重ねていかなければなりません。

住民に対する防火意識の啓発については、広報活動や一般家庭の防火査察、女性消防団員による一人暮らしの高齢者への防火訪問などを推進していく必要があります。

■消防体制と消防力の現状

	区分	数量	備考
消防機構	本部	1箇所	
	署	2箇所	北斗署、北分署
	出張所	1箇所	七重浜
	分遣所	2箇所	茂辺地、当別
	消防団	15分団	14分団、団本部
消防職員	本部	15人	北斗10、七飯4、鹿部1
	北斗署	81人	
消防団員		272人	
消防車両	ポンプ車	4台	当別、谷好、清川、中央
	タンク車	6台	北斗1・2、七重浜、北1・2、茂辺地
	化学車	2台	七重浜、北斗
	原液搬送車	1台	七重浜
	高所放水車	1台	北斗
	救助工作車	1台	北斗
	高規格救急車	3台	北斗、七重浜、北
	指揮車	1台	北斗
	可搬積載車	7台	本町、文月、開発、市渡、白川、東前、千代田
	その他	6台	
その他	小型動力ポンプ	3台	
水利施設	消火栓	777箇所	
	防火水槽	102箇所	
通信施設	通信指令台	1台	
	緊急通報システム	1台	北斗分
	同報無線	1台	北斗分
	一般加入	11回線	北斗分
無線電話	基地局	4局	
	移動局	61局	
	固定局	3局	

(注)平成29年4月1日現在

成果指標

No.	指標名及び説明	現状値	将来目標値
1	消防団員の定数確保	268	300

[成果指標の現状値・将来目標値について]

1 現状値は、平成29年3月31日現在の実数。

主要施策

1 消防力の強化

- ① 隣接する自治体との相互応援体制を強化して、大規模災害、自然災害などの発生に備えます。
- ② 津波災害時における消防本部及び北斗消防署の一定機能を、北斗消防署北分署に移転可能な態勢を整備し、災害対応力の確保と継続に努めます。
- ③ 消防団員の定数確保のため、加入促進を図り、消防団員の処遇改善に努めるとともに消防団を中核とした地域防災力の充実強化に努めます。
- ④ 市街地での火災発生時、住宅や工場の集積地における延焼防止を図るため、計画的に消防水利施設を設置します。

2 救急・救助体制の強化

- ① 救急業務の高度化、処置拡大に伴い、全ての救急隊に運用可能な救急救命士が必ず1人以上配置される体制を確保し、救急救命士の養成と運用体制の整備を継続して進めます。
- ② ドクターヘリのランデブーポイントは、通年使用可能な場所の選定と確保に努めます。
- ③ 複雑多様化し増加傾向にある救助活動に対処するため、全ての救助隊員を人命の救助に関する専門的かつ高度な教育を受けた隊員とし、救助資器材の整備・更新を進め救助活動の充実強化を図ります。

3 予防対策・意識啓発活動の推進

- ① 自主防災組織の育成と、災害に対する防災訓練を実施し、防災意識の向上を図るとともに、広報活動により、市民に啓発していきます。
- ② 住宅用火災警報器の未設置世帯に対して、早期設置を促進するとともに、設置義務化から10年を迎えるため、既設住宅用火災警報器の機能劣化が懸念されることから、機器の交換など適切な維持管理についての啓発に取り組みます。

【関連主要施策】 P79 主要施策3 地域における防災力の向上

■消防団員数の推移

単位：人

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
団員数	283	266	269	272	268
条例定数	300	300	300	300	300

■火災発生内容の推移

区分		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
火災件数 (件)	建物	12	12	7	7	9
	林野	-	-	-	1	1
	車両	-	5	-	-	2
	船舶	-	-	-	-	-
	その他	2	-	5	1	2
	総計	14	17	12	9	14
死傷者 (人)	死者	2	1	-	1	2
	負傷者	3	1	1	-	5
損害額 (千円)	建物	28,396	25,385	5,267	33,989	31,195
	林野	-	-	-	117	100
	車両	-	770	-	-	35
	船舶	-	-	-	-	-
	その他	253,619	-	126	-	-
	総計	282,015	26,155	5,393	34,106	31,330
被災棟		18	12	8	11	12
被災世帯		6	3	7	5	9
焼失面積(m ²)		824	1,721	333	677	573

■救急出場状況の推移

区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
火災	16	24	18	15	17
自然災害	1	-	-	-	-
水難事故	4	3	9	1	1
交通事故	146	164	146	135	128
労働災害	23	25	27	27	23
運動競技	20	15	9	15	15
一般負傷	232	242	293	252	293
加害事故	7	1	10	4	4
自損行為	28	33	26	32	19
急病	1,696	1,648	1,642	1,654	1,790
その他	120	98	118	108	108
総計	2,293	2,253	2,298	2,243	2,398